

平成 26 年度 文化庁日本語教育委託事業
文型指導から Can-do 型会話に
つなげる方法を開発する研修講座

募 集 要 項

聖徳大学言語文化研究所

「文型説明型授業では、日常会話能力を育てられないのでしょうか？」

こんな質問をたびたび耳にしてきました。この問いには、「文法と単語さえきっちりと覚えれば、会話は自然にできるようになるはずだ」という思いがあるようにも思います。それに構文の教科書には文型だけでなく、「会話例」も載っているものがあります。たとえば次のような例。

① A：きのう 初めて 生け花を しました。

B：どうでしたか。

A：とても 難しかったです。

② A：それは 何ですか。

B：雑誌です。

A：何の 雑誌ですか。

B：自動車の 雑誌です。 (下線部が文型)



さて、このようなやりとりは、はたして日常でよく話される会話でしょうか？ 日常の場面で本当に役立つ会話例でしょうか？ 何となく役立つようにも思えます。が、よく考えると、この会話例には「場面」「会話目的」「人間関係」などがはっきり示されていません。①では、なぜ突然、きのうのことを言い出したのでしょうか？ ②の「雑誌です」というような答え方は自然でしょうか？ また、雑誌を見て「それは何ですか」と質問するのでしょうか？ 会話目的が「？」です。

しかし、構文の教科書の例文としては、文型の意味が正しくわかればいいのですから、このようなものでもいいのです。言わば、文型理解のためにこしらえた会話もどきの例文なので、不自然なものになるのは仕方ないところがあります。「文型 → 実践応用」という練習のはずですが、本当に生活に役立つ「実用例」とは言い難い、不思議なものがたくさん出てきます。

でも、これまで多くの方が慣れ親しんできたこの「文型説明型授業」をベースに、**何とか生活に役立つ「文型 → 実践応用」という教え方を開発したい**、というのが今回の研修講座の挑戦です。言い換えれば、文型指導から **Can-do 型授業**（ことばを使ってやりたいことができるようになる授業）へのスムーズな発想転換を実現する指導法の研修です。一見、とても簡単そうに見えるこの「文型指導 → Can-do 型授業」図式ですが、ここにはとても大きな問題がたくさんあります。これまでも、こうしたリクエストはたくさん寄せられており、そのたびに「落とし穴」の多いこの要請には

すぐに応じることはできませんでした。しかし、今回はその一つの提案・解法を留意点と講師陣が開発した工夫と共にお見せしたいと思います。

外国人が「すぐに役立った」「日本語を覚えることが楽しくなった」「覚えなくなった」と感想を言ってくれるような指導法を、無理なくできる「易行」（難行苦行ではなく！）として示せればと考えています。地域日本語教育について、前向きな問題意識をお持ちになっていらっしゃる方々の積極的な参加をお待ちしております。

記

【期間】 平成 26 年 6 月 21 日(土)～10 月 11 日(土) 毎土曜日 13 時 30 分～16 時 30 分（全 10 回）

【場所】 聖徳大学 10 号館 5 階教室（千葉県松戸市松戸 1169） 松戸駅東口より徒歩 1 分

【研修目標と内容】※日程については、別紙「研修講座スケジュール表」を参照してください。

構文指導用の教科書に縛られることなく、在住外国人に日本語を教える目的・意義を自覚しながら、生活サバイバル表現と評価法を重視した日本語会話の指導法を研修する。

【担当予定講師】

北村 弘明(聖徳大学言語文化研究所教授)

嶋田 和子(アクラス日本語教育研究所代表理事)

吉田 聖子(日本語教育研究協議会講師)

西川 寛之(明海大学講師) ※都合により講師の変更がある場合もあります。

【募集人員】 45 名（申し込み多数の場合には、書類選考をおこなうこともあります）

【応募資格】 地域でのボランティア日本語教育に 2 年以上従事している方。また、これまで日本語指導をしてきた経験を踏まえ、外国人の生活行動を支える Can-do 重視の日本語指導法に関心のある方。

【参加費】 無料（ただし、初回に配付物印刷実費を 3,000 円お支払い下さい）

【応募方法】 封筒に別紙の申込用紙（必要事項記入）と 返信用封筒（後日、受講の可否を折り返し通知するもの。82 円切手を添付し、受取人住所氏名を明記）を入れ、下記宛にお申し込みください。

（宛先）〒271-8555

千葉県松戸市岩瀬 550 聖徳大学 知財戦略課 日本語教育研修講座係

（切）平成 26 年 6 月 6 日（金）当日必着

（お問い合わせ）聖徳大学 知財戦略課 TEL 047（365）1111（大代）

メールアドレス chizai@seitoku.ac.jp

※お送りいただいた申込書等は、受講の可否を問わず、ご返却いたしません。

個人情報につきましては、本目的以外に使用することはありません。

また、書類に不備のある場合は、受講不可となる場合もありますのでご注意ください。

6 月 14 日(土)頃までに、受講の可否を折り返し通知いたします。

申込書・スケジュール予定表はこちらからダウンロードできます↓

<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/event/>

※受講採択された方には、後日、詳しいご案内をお送りします。